



2020年2月7日

各位

会社名 アーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社
代表者名 代表取締役社長 丸山 雄平
(コード番号：6085 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 管理本部長 山口 裕司
(TEL. 06-6363-5701)

工事完成保証損失引当金繰入額及び貸倒引当金繰入額の計上に関するお知らせ

当社は2020年3月期第3四半期会計期間(2019年10月1日～2019年12月31日)において、下記のとおり工事完成保証損失引当金繰入額及び貸倒引当金繰入額を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 損失の内容

2019年12月17日に開示いたしました「債権の取立不能または取立遅延のおそれに関するお知らせ」に記載のとおり、取引先(ATインターナショナル株式会社)に対する保証債務及び未回収債権について、工事完成保証損失引当金繰入額38,300千円及び貸倒引当金繰入額18,163千円を、いずれも販売費及び一般管理費に計上することといたしました。

2. 今後の見通し

2019年11月7日公表の2020年3月期通期業績予想の数値に変更はございません。

(通期業績予想について)

上記1.記載の2019年12月に破産申立てを行った取引先が1社発生したことによる販管費計上への通期業績に与える影響につきまして、第4四半期の営業案件仕掛状況と施策並びに経費等の支出を再度見直いたしました。

当初、来期以降の施策として展開を計画しておりました「PROTO BANK (ASJ 建築家ネットワーク事業により過去に建設された名作住宅の図面を再利用することで顧客のご予算にあった建築家デザイン住宅をあたかもモデルハウスを選択するかのように Web 上で自由に選択できる仕組み)」を取扱う新しいフランチャイズモデル『PROTO BANK Station』の本格展開に向けて、既存加盟スタジオへの導入を図るとともに、新規に加盟契約の募集を開始することにより、第4四半期の売上に貢献することが見込まれ、2020年3月期通期業績予想の数値については、上記1.記載の損失額についてはおおむねカバーが期待されることから、2019年11月7日公表からの変更はございません。

以上

(参考) 当期業績予想 (2019年11月7日公表分) 及び前期実績

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
当期業績予想 (2020年3月期)	1,125	△154	△152	△153
前期実績 (2019年3月期)	1,253	34	31	30

(注) 本資料に掲載されている将来の見通しに関する事項については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、将来の業績を保証するものではなく、実際は今後の様々な要因によって変動する可能性があります。